

番 号	23-18	申 請 者	瀬形 建喜
<p>【審査申請課題】</p> <p>骨運動器疾患術後患者の運動量調査システムの構築 一歩数計を用いて</p> <p>【審査課題の概要】</p> <p>万歩計（3軸加速度計付き）をベルトに固定し腰に装着させ、転院後も一日の歩数及び、歩行強度（週単位での平均）をモニタリングする。実際の装着時間はリハビリ開始～終了間とし、転院先の看護婦または、PTに装着・脱着を依頼する。連続5日間（week dayの間での連続）のリハビリ時間内の歩数及び歩行強度の平均を求める。Data送信は、各々リハビリ終了時にPT又は看護婦により、フェリカポートを介して送信。個人を特定するためには①個人毎の歩数計を用意する。②通信票を作成し、個人ID及び、歩数計の表示数、data送信日時を作成し、これをweb経由で収集③通信票を1回/W各施設に回収に回る。Dataの一致性の確認には、通信票を基に歩行数の一致、日時の一致、IDの一致にて行う。患者のbackgroundとしてのdata：年齢、性別、身長、体重、BMI、受傷時居住場所、合併症の有無（認知症、片麻痺の有無）、亀背の有無、膝変形の有無、最終居住場所なども調査する。（調査票を作成し、転院先のナース又はPTに記入してもらう）。基本的には同意が得られた全例に対し、歩数及び歩行強度を経時的に調査する。</p>			
審査結果	承認（平成23年7月20日）		